



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 唯一の原爆被爆国の国民として思うこと

ナガサキ原水禁大会に参加して 柏木裕美

8月、長崎で開かれた原水爆禁止世界大会に北茨城市から参加した柏木裕美さんが手記を寄せてくれました。

今から64年前の8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が投下されました。広島ではウラン型原爆「リトルボーイ」によって約14万人が、長崎では約7万人がプルトニウム型原爆「ファットマン」によって命を奪われました。

生き残った人々も放射能によって、白血病や甲状腺異常、癌などに身体を冒されました。いわれなき差別を受け、被ばく者であることを隠し、その日、その時、その瞬間からの苦しい日々を思い出すまいとして、堅く口を閉ざした人は少なくありません。しかし第二、第三の「ヒロシマ・ナガサキ」を生み出さぬようにという強い思いから、原爆がいかに恐ろしく、どれだけ多くの人々を苦しめ、死にいたらしめていくかを伝えるために、絵を描いたり、文章に著したり、ケロイドの残る肌を見せながら語り続けている方々がいます。



## 体育祭

新型インフルエンザもはねのけて、元気な歓声が響きました。(磯原中学校、9/6)

そんな被ばく者の方々は、今年の4月にオバマ米大統領がチエコ

プラハで行った演説で「アメリカは核兵器を使用した唯一の核保有国として、核兵器禁止をめざす行動を起こす道義的責任を有する」と広島、長崎への原爆投下に対するアメリカの責任に言及したことをとても喜んでいました。ところが、唯一の原爆被爆国である日本の首相は、アメリカが核兵器を保有していることで日本は他の核保有国の脅威から免れているという「核の傘」論を前面に、核の先制不使用は「現実的でない」とまで発言しています。

日本は憲法九条で、戦争を放棄し、交戦権を放棄したからこそ、第二次大戦以降、武力紛争に直接巻き込まれることなく今日に至っているのです。それを根底から覆す、そして古傷やトラウマを抱えながら「その日」を語っている方々の思いを踏みにじる発言をしている日本の元首を恥ずかしく思いました。日本国憲法は平和主義と



雨情記念館に展示

## 縮小模型

雨情記念館では、夏からひきつづいて「風船爆弾特別展」をおこなっており、市民グループから寄託された風船爆弾の縮小模型も展示されています。風船爆弾については、「もう見たくない」という方もいる一方で、実際に目撃したお話などを聞かせてくれる方もいるとのこと。また、全国的に展開された軍事作戦であったことから、遠方からの問い合わせも少なくないそうです。

## 行財政改革特別委員会

新しくなったメンバーで第3次計画の審議開始

行財政改革特別委員会が一般質問の後の9月8日に開かれました。3月に市議会が改選されたから初めてとなる会議です。

まず北茨城市第2次行政改革の結果、および第3次計画の概要が執行部から報告されました。これを受けて、今後の委員会審議の方向が話し合わせ、執行内容のチェックだけでなく、議会からも積極的に提言して

いくことが確認されました。第2次行政改革(平成16〜20年度)は、この3月で締められました。推進項目は52で達成率81%、削減効果額は約8億2千万円となっています。

主なものとしては、定員適正化(人員削減)で4億4千万円、市有財産の処分などで9千万円、浄水場業務の一部民間委託や学校給食センター調理手のパート化で

7千万円などです。事務事業や機構の見直しなどでの経費削減は当然ですが、業務の民間委託や職員のパート化などには慎重な審議が必要と日本共産党市議団は主張してきました。あらたに今年度から5ヶ年、第3次行政改革がすすめられます。この中には、補助金の交付基準の見直し、給食センターや図書館の民間委託の検討なども含まれています。鈴木やす子委員は「行財政改革が、自治体本来の仕事である市民生活の福祉増進に逆行しないよう議論していきたい」と発言しました。